

平成28年2月4日  
群馬産業技術センター 企画管理係  
電話：027-290-3030  
群馬県次世代産業振興戦略会議  
電話：027-226-3365

## 第26回「産学官交流出合いの場」を開催します ～群馬県次世代産業振興戦略会議「スプリングバック研究会」～

群馬産業技術センターでは、技術開発の中核的支援機関として「産学官交流出合いの場」を開催し、技術開発を試みる企業と大学等の研究者とが積極的に交流するための場を提供しています。

今回は、群馬県次世代産業振興戦略会議「スプリングバック研究会」キックオフセミナーとして、「シミュレーションによるスプリングバック予測技術」の事例を紹介します。産学官連携のきっかけになるよう、皆さまのご参加をお待ちしています。

※スプリングバック現象…材料をプレスしたときに元に戻ってしまう現象で、プレス技術における最大課題の1つです。

1. 日 時 平成28年2月19日（金）14：00～17：00
2. 開催場所 群馬産業技術センター 第一研修室（前橋市亀里町884-1）
3. 内 容
  - (1) 「県内企業におけるスプリングバック予測技術の現状」  
講師：有限会社石川鉄工所 設計課 神田 学 氏  
鈴木工業株式会社 CIM推進室 室長 鈴木 修一 氏  
群馬産業技術センター 研究調整官 小宅 勝  
概要：スプリングバック研究会の設立趣旨の詳細や、スプリングバック予測技術における県内の先進企業である有限会社石川鉄工所及び鈴木工業株式会社の活用事例を紹介し、各種解析条件の違いによる解析精度等の差異について解説します。
  - (2) 「バウシinger効果の材料モデルと今後の課題」  
講師：岡山大学 大学院自然科学研究科 准教授 上森 武 氏  
概要：材料モデルの高精度化を実現した一例として、本分野で注目されているYoshida-Uemoriモデルについて、その開発過程や現状ならびに今後の課題等について解説するほか、材料の繰返し面内反転挙動（繰返し応力-ひずみ関係）やバウシinger効果を高精度に取り扱える材料モデルについても説明し、材料のバウシinger効果の取り扱いや本効果の注目点について解説します。
  - (3) 交流会
4. 主 催 群馬県（群馬県立群馬産業技術センター、群馬県次世代産業振興戦略会議）  
共 催 群馬県ものづくり技術研究会
5. 定 員 等 60名程度（先着）  
参加費用は無料ですが、事前の申込みが必要です。
6. 申込方法 参加申込書※に、会社名、ご連絡先（所在地、TEL、FAX）、参加者氏名・部署（複数可）を明記の上、平成28年2月12日（金）までに、下記申込み先にFAXまたはE-mailでお申込みください。  
※群馬産業技術センターのホームページまたは県のホームページ（報道提供資料-2月4日）から参加申込書をダウンロードできます。
7. 問合せ先 群馬産業技術センター（前橋市亀里町884-1）  
企画管理係  
TEL:027-290-3030 FAX:027-290-3040  
E-mail:[git@tec-lab.pref.gunma.jp](mailto:git@tec-lab.pref.gunma.jp)